

## 第 17 回医療法人社団美翔会認定再生医療等委員会 議事概要

作成：阿部

開催日時	2022年2月9日（水）19：00～20:30
場所	オンライン
出席委員 (敬称略)	(医学・医療) 傍島 聡、岩畔英樹、鎌倉達郎 (法律・生命倫理) 伊藤芳朗、岡田 功、伊藤宣子 (一般) 福田真由美、石山 央
欠席委員 (敬称略)	なし
事務局出席者	河上早苗、阿部真衣
再生医療等 提供計画 を提出した 医療機関の名称 と提出日	<b>聖心美容クリニック定期報告（1件）</b> 医療法人社団美翔会 聖心美容クリニック 熱海院 管理者：小林 美幸 ● 計画番号：PC4150209 「自己多血小板血漿（PRP）を用いた顔面および陥凹部位に対する組織量増大治療」  (提出日 2022年2月2日)
議題	聖心美容クリニック定期報告
	<p><b>聖心美容クリニック定期報告</b></p> <p>鎌倉：聖心美容クリニック熱海院の定期報告です。</p> <p>事務局（阿部）：「自己多血小板血漿（PRP）を用いた顔面および陥凹部位に対する組織量増大治療」の症例の中で、治療後6か月までの経過観察が完了した症例についてご報告させていただきます。患者93名110件について、治療を実施しました。治療6か月後における患者満足度および医師満足度による治療の効果判定をGAISにて行いました。患者満足度は5段階評価中、「4:よい」71%、「3:ふつう」29%でした。医師による効果測定では5段階中、「4:よい」71%、「3:ふつう」29%の評価でした。以上より、治療の効果があったと評価しました。</p> <p>鎌倉：今回の治療評価は、治療6か月後の経過観察を完了した症例について報告したものです。コロナ禍ということもあり経過観察が難しい状況ですが、経過で何か問題や気になることがあれば、いつでも連絡いただける体制は整えています。また、再生医療等に係る疾病や、</p>

	<p>診察での異常所見も認められませんでした。これに関してご質問のある方はいらっしゃいますか。</p> <p>岩畔：顔面の陥凹部に対する治療というのは具体的にどの部位を指すのでしょうか。</p> <p>鎌倉；ほうれい線、目の下、頬のコケ、こめかみのくぼみ等を陥凹部として判断しています。必ずしも病的に陥凹しているものだけでなく、老化現象に伴う陥凹も含まれます。</p> <p>岩畔：分かりました。</p> <p>鎌倉：ほかにご意見やご質問はございますか。</p> <p>一同：ありません。</p> <p>岩畔：症例の経過状況から有害事象等の発生はなく、科学的妥当性があるとの評価を確認し、治療提供の継続に問題なしと判断します。</p> <p>審議結果：適</p> <p>鎌倉：次回の委員会は4月を予定しております。審議内容はあやこいとうクリニックさまの定期報告です。</p> <p>注) 審議に関しては、鎌倉理事長を除く委員で審議を実施。</p>
<p>次回委員会 開催日</p>	<p>2022年4月</p>